

今年が無事終わり、皆が健康で新年を迎えられますように！
～願いを込めてお餅をつきます～



いいかも

可茂地区家庭教育学級応援通信

可茂県事務所 振興防災課
家庭教育推進専門職 安田 早由里
〒505-8508
美濃加茂市古井町下古井 2610-1
TEL：0574-25-3111 内線 208
FAX：0574-25-3934
令和4年 12月号

可茂地区トレジャーワード

「I (アイ) C (チャレンジ) T (トライ) ・親磨きで一步前進！」

美濃加茂市・可児市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町



No.16

美濃加茂市立太田小学校

研修視察・講演会

1 テーマ： 「みのかも健康プラザで学ぼう！」

美濃加茂市は、令和4年度より、健康と子育てに関わる3つの課を健康プラザの中に集約した。市民であるにも関わらず、そのような情報を十分把握していない者も多く、「新しいところができたい。」にとどまっているのはとても残念なことである。本視察を通して、現場を自分の目で確かめ、日常の生活に役立てほしい。

2 日時： 令和4年11月15日(火) 10時00分～11時15分

3 参加人数： 講師：4名(市職員) 保護者：10名 学校職員：1名

4 実施方法： ・はじめの会

あいさつ <教頭より> <PTA会長様より>

・館内視察 <市担当者より簡単な紹介ののち、皆で各部屋を回った。>

・講話

① 虐待を防ぐために ② 歯と口の健康 ③ 生命誕生を通して命の大切を実感し、自尊感情を育む ④ SOSの出し方に関する教育 (短時間でも内容の濃い講話です)

開催場所

※みのかも健康プラザ
(研修室にて)



よく話を聴き、家へ持ち帰り話題にしてほしい。知った情報を友達に発信してほしい。(PTA会長様より)



こちらのフロアで各課の職員が仕事をしています。



市職員による講話



こども健康ルームの視察

<参加者より>
・自分たちが子どもの頃に学んでいなかった内容を知ることができた。家に帰ったら、子どもと共通の話題にすることができる。参加してよかった。
・市の施設の充実ぶりに驚いた。是非、友達にも知らせたい。
・身近な場所の研修視察ということで、参加しやすかった。現地集合・現地解散もありですね。
・貴重な経験になった。

あなたが幸せを実感するときは？



<感想>

しばらくの間実施していなかった「研修視察」を、時間を短縮し、身近な場所に各々で集合するというスタイルで実施した。コロナ禍ならではの工夫が感じられる学級であった。時間的に無理がなく、自分たちの住む町の施設や行政の仕組みにも触れることができ、求めて学ばないとなかなか見えない分野がよくわかった。短い中にも各分野のエッセンスが集約された講話も魅力的であった。「本当なら、この後サロン会で学びを交流ができたらよいのだが。」と、コロナが収束した後の会のもち方に願いを膨らませる担当者の姿にも触れることができた。学級のさらなる充実を期待します。





No.17

美濃加茂市立三和小学校

在宅取組型

1 テーマ: 「ICTで話そう語ろうデーⅠ」

～タブレットパソコンを活用した学校と家庭をつなぐ取組～

「コロナ禍で、わが子の学校での様子を知る機会が減ってしまった。子どもの頑張りを家庭でもっと認めてやることはないだろうか。」という願いから、情報機器の先進的な活用をしている三和小ならでは本取組を計画する。

- 2 日時 : 令和3・4年度の実践 ※各家庭にて
- 3 参加人数 : 三和小学校全保護者・全児童
- 4 実施方法 : ○保護者への説明(家庭教育学級研修会の時間を活用)

- ・学校での頑張りを子ども達や先生がタブレットを使い画像や動画で撮影し、保存する。
- ・保存された画像や動画から子どもが各自選ぶ。
- ・週末、家庭にタブレットを持ち帰り、子どもが画像や動画を保護者に見せながら、学校での頑張りを話す。
- ・学校での子どもの頑張りに対して、保護者がカードにメッセージを書く。
- ・子どもから保護者へ、メッセージに対しての返事をカードに書く。



メッセージ

- <お父さん・お母さんから子ども達へ>
- ・音読の発表会、みんな上手にできたね。
 - ・いつもどんなふうにも勉強しているかよくわかったよ。
 - ・一輪車の練習、給食の時間やボール投げなど、普段見られないところも見ることができてうれしかった。

子ども達の様子を見たり聞いたりにして、わが子の頑張りに安堵した保護者がたくさんおられた。

- <子どもからお父さん・お母さんへ>
- ・写真を一緒に見てくれてありがとう。そして、メッセージをありがとう。
 - ・これからも一輪車の練習を頑張ります。
 - ・家では、学校の話あまりしないけど、久々にたくさん話せてよかった。
 - ・ほめてくれてありがとう。また頑張るね。

学校での頑張りを認め励ましてもらったことのうれしさや、これからの決意を書いている子がほとんどでした。

子どもから 家族へのメッセージ

見てくれてありがとう
1,2年生に一輪車を
教えていてぜんぜんせ
いこうしてないけど
がんばります。はすかしがらすた
自信をもってはさきり言います
そして、すごいねとメッセージを書い
てくれてありがとう

保護者から 子どもへのメッセージ

1,2年生に一輪車を教えていて
すごいね。これからも、より上手になれる
ように、みんなと協力し合っていてね。
英語の授業、はじめて見たけれど、
がんばっているね。はすかしがらすた、
自信を持って話してね。
他の授業や活動も、みんなと一緒に楽し
とりにくめているね。これからも、みんなと
仲良くとりくんでいてね。母より。

タブレットパソコンを活用した
学校と家庭をつなぐ取組



「ICTで話そう語ろうデーⅡ」

子ども達が週末にタブレットを持ち帰り、「家庭の1枚」と題して、宝物や家族、お料理等、仲間に紹介したいものをタブレットパソコンで写真に撮り、学校で交流する取組。



子ども達の学校での頑張りを知る、一つの方法として、ICT(タブレットパソコン)を巧みに活用しておられる三和小学校。子どもの、家では見ることのできない表情や頑張りを、映像を通してたくさん保護者の方に観ていただけたことでしょう。親子の会話も弾んだと思います。一つの取組が第2弾へとつながり、内容が広がったことも素敵です。校区の実態を踏まえた特色のある在宅取組です。

岐阜県青少年健全育成県民大会
(R4・11・27) 八百津町中央公民館にて

美濃加茂市・可児市「みんなで家庭教育！」活動発表

『つなぐ つたえる 家族の絆』 柴田家(美濃加茂市)

可茂地区にお住まいの素敵なお家族を紹介します。祖父母が大切にしてきた「わが家」の文化を世代が変わっても大切に守り、家族の絆を紡いでいる柴田家、多文化な環境を強みに、各々のよさを取り入れた子育てを実践しているマンドリー家。二つのご家族の置かれた環境は違いますが、互いの気持ちをわかり合ったり、良さを認め合ったりと、子ども達の心が安定し健やかに育つ家庭教育を実践しておられる点は同じです。子どもの年齢は親年齢とも言われます。素敵な家庭教育の様子を、県民大会で発表してくださいました。

『多文化が育むワールドワイドな子育て』 マンドリー家(可児市)

多くの方に聞いていただきかけた。





年末年始は、ふれあいがい~っぱい！

今年も残すところ3週間となりました。「今年のこと、今年のうち。」様々なことに区切りをつけ新しい年を迎えようと、日々、忙しく過ごしておられる方も多いことでしょう。つい「お母さん忙しいから・・・。」と、口をついて出てしまいそうになります。しかし、家庭の中で子ども達を仕事に巻き込めば、家族で同じ時間を共有する、ふれあいにもなります。仕事の最中で、終わった後で、たくさん褒めてあげることできます。親御さんにとっても大助かりで、まさに一石二鳥です。遊んでいる時には見せない、お子さんの表情や言動が目に残るかもしれません。「お父さんやお母さんが喜んでくれる。」「ぼく、私も家族の一員として役に立っているんだ。」子どもにとって心が穏やかになる(安定する)瞬間です。家族がたくさんふれあう年末年始になることを期待します。

年末はこんな時間が過ごせます

近年は、家庭でお餅をつくところが減ってきているようですが、反面、子ども達に日本の伝統文化を伝えたいと、あえて臼や杵でついたり、家庭用の機械を用いたりというご家庭もあります。お餅が口に入るまでには、つく人・丸める人・あんこや黄な粉をまぶす人等、役割がたくさんあります。お父さんやおじいさんに教えてもらい、力強く杵を振り下ろす姿、可愛い手でお餅を丸める姿には、微笑ましいものがあります。「力いっぱいつけたね。」「おいしいお餅ができたね。」と、会話が弾むことでしょう。(喜んで手伝う姿が目に残ります。)

「散らかっていても病気にはならないから。」と、冗談でこう言われる方があります。忙しい毎日を過ごしていると、ついこんな気持ちになってしまうのもわからないではありません。しかし、過ごしてきた一年に感謝しつつ、新年を清々しい気持ちで迎えるには、この時期の大掃除は大切な仕事です。「猫の手も借りたいほど忙しい。」そんな時は、是非、子ども達に仕事を分担し、任せましょう。「〇〇くんは、窓ふきね、△△ちゃんはお風呂掃除。」と、どんどん子どもを頼りましょう。大人が思うほど美しくはならないかもしれませんが、子ども達の力は、あなだれません。応援部隊になること間違いなしです。

年始はこんな時間が過ごせます

新年を迎えたら、今年の抱負を立てましょう。「お父さんは、こんなことをがんばるよ。」「お母さんは、・・・だよ。」あなたたちは何をがんばる一年にするのかな？ たった一日日付が変わるだけで、見るもの聞くもの全てが新鮮に感じられるのが、新年というものです。この機会に、今年がんばることを家族で話し合う。「今、そんなこと言っているけれど、きっと途中でできなくなるよね。」は、ご法度です。

普段顔を見ることの少ない方々と会うことも多い新年です。「おめでとうございます。」「こんにちは、いらっしやい。」等のあいさつを大切にしたいものです。それが笑顔の源になり、明るい家庭の雰囲気を出します。穏やかな環境の中で迎える新年は素敵です。「書初め」「羽子板」「凧あげ」等、祖父母の時代から大切にされてきた伝統文化にも、挑戦させたいものです。

寒い日が続きますが、「子どもは風の子」、外に出て体を動かして遊ぶ時間を持ちたいものです。「お父さんと山に登ったよ。」「キャッチボールしたよ。」「凧あげしたよ。」等、体を動かすことは心も伸びやかになることにつながります。帰宅後の家族団らんは、きっと楽しいものになるでしょう。

子どもを認め励ましたり、アドバイスしたり、礼儀作法を教えたり、ただ一緒に過ごすだけで温かな気持ちになる。そんな時間を家族で共有することが、家庭教育の原点です。

ぺったんこ〜、ミナモも頑張ります！

餅つき



助かったよ、ありがとう！



大掃除

僕は、本を〇〇冊読むよ。私は、一日も休まず学校に行くよ！



新年の抱負

伝統文化



外遊び(寒さに負けない)

